

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）34

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833 |

45
6.22
愛知外相、邦人記者団

ツカヒ 万大 博覧

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

23/

電信写

大政事外儀審
務次典
官審審長長
官総入電厚計
文会管総
参調研企
参領旅移

総番号(TA) 30923
70年6月22日 24時00分 米 国 発着
70年6月23日 12時57分 本 省 着

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

アイチ大臣記者会見(政治関係)

第1904号 平 至急(ゆう先処理)

往電第1902号に関し。

冒頭会見中。せん維問題を除く部分の要旨次の通り。

(大臣)日本政府は22日臨時閣議で安保についての政府声明を決定。内外に発表した。きようロジャース長官を訪れた機会にこの声明書を渡しておいた。ロジャース長官からは長官声明文をいただいた。

ドクガス撤去問題についてはあらためて長官にとくそくしたところ。長官は何か早く手を打ちたいと述べた。

ジャカルタ会議三特使がらようど米国政府にアプローチするときに。ロジャース長官が不在となる予定だったが。長官は土よう日にもかかわらず27日午後せひ会って話したいと言っていた。

(問) ガスについては経過の説明があつたか。

(答) なかつたが。ロジャース長官はかなり誠意のある態度を示した。

(問) ガスの受入地については何か話しがあつたか。

参地中東
北東
参北北保
参一二
参西東洋
西東

近ア具
参書近ア
次総経團万
参質統
参政技二
團一理
参納規
参政経科
單社専
参通内外
一三

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(答) なかつた。受入地が次々とうち切られ私としても残念に思っている。

(問) カンボディアや中国については話したか。

(答) それほどは話さなかつた。長官もいろいろ聞きたいところがあつたらしいがすぐ日本へ来ることでもあり。その時にまた話せよう。

(丁)